

# 世の中の動きを読み解く力

## 政治学



森田 明彦  
世界人権論



藤本 吉則  
行政学

## 法学



栗原 由紀子  
民法・消費者法



黄 梅英  
教育社会学  
高等教育論

## 社会学



杉座 秀親  
自己の社会学  
物語りの社会学

## 情報科学



木村 清  
情報工学と  
教育への応用

## スポーツ



小田嶋 充  
健康科学



内田 龍史  
差別と共生の社会学  
マイノリティ論



呉 正培  
社会言語学  
異文化交流論

## 経済学



高橋 真  
経済政策と制度分析



福井 真司  
スポーツ医科学

## 経営学



張 涛  
経営戦略

現代社会科学の学び

1～2年

各分野の入門編を学ぶ

3～4年

専門分野を学ぶ

## 社会学

### 黄梅英 教授



教育の問題から現代社会の本質的問題を問い直していこう！

教育システムと雇用システムに関する国際的比較を行い、社会学のアプローチで教育と職業の関係を研究します。ディベートなどの手法ロジカルに考えるような様々な取り組みをしています。

### 内田龍史 准教授



マイノリティ（社会的少数派）の視点から、現代社会を問いなおす

差別・社会的排除などの現代の社会問題や、東日本大震災からの地域社会の復興について、社会調査にもとづく社会学的研究を行っています。夏休み期間には様々な被害・被災体験について学ぶゼミ合宿（フィールドワーク）を実施します。

### 杉座秀親 教授



自分の誕生から現在までの記憶を記録する

一人ひとりの生たちから現在までを書いてみることを目的としています。誕生までの記憶をていねいにたどりながら、人生に一貫性を与え、自分がなぜ現在にあるようになったかを学びます。

### 吳正培 講師



文化の違いがもたらす豊かさを楽しもう！

主要話題についてのディスカッション、国際交流プログラムの企画、地域の国際交流事業への参加を通して、異文化理解の難しさと楽しさを学び、グローバル時代に求められる素養とコミュニケーション能力を磨きます。

# 世の中の動きを読み解く力

## 経済学

### 高橋真 教授



経済学の見方・考え方を学ぶ

代表的な経済学者の理論や思想を学ぶことで、現実の経済社会を理解していきます。

## 経営学

### 張涛 准教授



競争を勝ち抜くためのビジネスモデル・イノベーションを探る

企業の成功事例を分析しその共通点を突き止めることで、競争戦略に対する理解を深めていきます。また、企業の財務諸表を用いて、企業業績を比較することで同業他社の戦略の優劣を診断することにチャレンジします。

## スポーツ

### 小田嶋充 教授



Sport for Everyone

超高齢化社会を迎えようとしている今日、スポーツにおける生涯学習社会の構築はいかにあるべきか、また健康寿命を伸ばすためにはどのような施策が必要かそれぞれがテーマを設定し調査研究を行う。

### 福井真司 准教授



長寿社会を心身健康的に生き抜く

「超高齢化社会の未来を考える」にあたり、運動が様々な事情を抱えた地域社会とどのように関わっていくべきかを真剣に考えるゼミです。さらに、現状をより身近に感じるために、高齢者の健康診断調査などをサポート検者として体験します。

## ゼミナールとは

教員の指導のもと、学生が特定のテーマについて、調べて・まとめて・報告し、そのあとゼミナールのメンバー同士でディスカッションするものです。

6人から10人程度の少人数で行います。

## 政治学

### 森田明彦 教授



現代多文化・多言語・多信条社会における人権の歴史的・制度的・原理的研究

森田ゼミでは、学生の自由で自発的な研究を尊重しています。テーマもさまざまですが、自分の足で海外を歩きその経験に基づいて思想的深みのある国際的な視野をもった卒業研究を仕上げることを推奨しています。

### 藤本吉則 准教授



地方行政の課題と一緒に考えましょう

2015年度は行政学のテキストの輪読と栗原市と尚絅学院大学の連携事業「今できることプロジェクト×栗原市」参加を通じて、栗原市の観光や抱えている問題について議論、理解を深めました。

## 法学

### 栗原由紀子 准教授



正確な法律知識を習得して法的な思考の出来る人になろう

契約や相続といった私たちの日常生活に関わる法律問題について、実際の事件や裁判例を素材に妥当な解決方法を考えていきます。事実を丹念に読み込んだ上で、問題の生じる背景を検討しながらなぜ裁判所がそのような判断を導いたのかをゼミ生全員で討論していきます。

## 情報科学

### 木村清 教授



ICT(情報通信技術)から社会を読み解く

3年次では簡単なプログラム実習でコンピュータの基礎を体験的に理解したあと、政府白書などを使い社会的影響力の大きい情報技術の事例を調べ、各自の研究テーマを決めます。4年次には各自の研究発表とディスカッションを行います。